

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人リスクデザイン研究所
活動テーマ	水害フォーラムキャラバン 3



近年、異常気象による集中豪雨などが頻発し、市街地の拡大に伴う土砂災害リスクの巨大化や高齢化による避難困難世帯・災害時要配慮者の増加などにより、水害への備えや復興について再検討する必要性が高まっています。

当団体は、平成 27 年度以降、水害発生時期の異なる地域(丹波市,十津川村,紀伊半島,豊岡市,広島市)において現地視察やフォーラムを開催し、それぞれの復興段階における取り組みや悩み、今後の課題等について調査し、参加者間で共有を図ってきました。

今回、十津川村と広島市を再訪し、その後の変化を確認するとともに、この 3 年間に訪れた各被災地の状況を被災者の「生の声」によって再現し、比較参照できるメディア(=被災者のことば)としてまとめる取り組みを行いました。具体的には、被災地ごとにインタビュー等で聞き取った内容を「被災者のことば」としてカード化し、さらにその「ことば」がどの時点をつりかえた時のものなのかが分かるように整理しました。

「生の声」はそれ自体貴重な資料ですが、個別のカードにすることで、さまざまな「ことば」同士のつながりや重なり、変化、時にははずれなどを見ることができます。また被災地ごとの比較はもちろん、フェーズごとの推移など、水害からの回復というプロセスを立体的に捉えることを促すツールにもなり得ると思っています。

今後は、この「被災者のことば」を使った防災・減災(事前復興)学習のワークショップを、学校、自治体、地域の自主防災組織などで実施できればと考えています。